



# 東陽の旋風<sup>かぜ</sup> ～自立貢献～

令和4年5月14日（土）No 5 発行  
文責：松本 卓也

## “共育”を目指して ～令和4年度PTA活動もスタートしました～

6日（金）に行われた「授業参観、PTA総会、学年・学級懇談会」には、多くの保護者の皆さまにご出席いただき、誠にありがとうございました。4校時の授業参観では、1年生は英語、2年生は数学、3年生は社会の授業を公開しました。また、当日は、東陽小中学校の学校運営協議会員の皆さまにもご参観いただき、学んだ内容を明らかにしたり、ICTを活用したり、学習者の考えを互いに伝え合ったりする子どもたちの姿から、「一人一台の学習者用タブレット端末など、教育環境に恵まれていますね。」「子どもたちは集中して授業に臨んでいますね。」「主体的・対話的に学ぶために、子どもが主体となって活躍する場面の設定を工夫してください。」等、貴重なご助言をいただきました。今後、校内研修等を通して、さらなる授業改善に努めたいと思います。その後に行われたPTA総会や学年・学級懇談会への参加も多く、お子様への愛情や学校教育に対する関心の高さを感ずりました。ご家庭と学校が同じ目標のもとに、「共に子どもを育てていく（共育）」視点を大事にして、教育活動を進めていきたいと考えております。今後とも、保護者の皆さまの温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



## 夏草との闘い ～運動場整地作業～

運動会の環境整備に向け、恒例の「運動場整地作業」を8日（日）に行いました。本校は、敷地総面積が大変広く、環境維持が課題となっております。1時間ほどの作業でしたが、運動場が見違えるように美しくなりました。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。



## 早起きは三文の徳（得）朝ランニング始まる

2日（月）から新しい活動が始まりました。「朝ランニング」です。体力向上が主な目的ですが、脳科学の視点からも朝の日光を浴びながら運動することは、幸せホルモンと呼ばれるセロトニンを増やすことにつながります。自由参加ですが、少し早起きして参加してみませんか？



## 【編集後記】「♪夏も近づく八十八夜…」季節の移り変わりを感じる

▼5月、新茶が出回る季節になりました。普段は日本茶を飲まない人も、「新茶」のペットボトルや、スーパー等で新茶の試飲会を見かけたことはありませんか。▼新茶といえば思い出すのは、「八十八夜」です。昔からこの日に摘まれたお茶を飲むと縁起がよいと言われていました。▼「八十八夜」は立春から数えて「八十八日目」ということからつきました。その日は年によって変わりますが、今年5月2日にあたります。では、なぜ八十八日目をそう呼ぶようになったのでしょうか。▼それは農業に従事している人が多かった昔の日本で、ちょうどこの頃が田植えの準備、茶摘みなど、農作業を行う時期にあたっていたからです。八十八夜の数日後には「立夏」になることもあり、この時期を「夏の準備を始める目安」と考えていたのです。▼また、別の考え方として「末広がりの姿をしている「八」の文字が二つも重なった「八十三」の文字を組み合わせると「米」という字になるため、とくに農業に携わる人々に大切にされてきたのだとも言われています。▼さて、お茶の出始めは冬の間にゆっくりと養分を蓄え、春になると少しずつ芽を出し始めます。このため、いち早く芽吹いた茶葉を収穫してつくった「新茶」は、テアニンと旨味成分をたっぷり含み、リラックスさせたり、集中力を高めさせたりする効果があるといわれています。風味も抜群なので、普段、お茶をあまり飲まない人も旬の味を堪能してはいかがでしょうか。

## 運動会、明日開催!!

これまで、子どもたちは、自分たちで考え、目標を掲げ、命を懸けた。保護者の皆さまの応援をいただき、運動会を開催します。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）